

いよいよ、世界へ！。



# 阿蘇ジオパーク

ASO GeOPARK

いよいよ9月、世界認定発表！

昨年9月、世界ジオパーク国内候補地として推薦が決定した阿蘇ジオパーク。平成21年に推進協議会を設立、5年目にしていよいよ本年9月に世界認定の可否が決定します。

日本ジオパークネットワークには、協議会発足直後に認定されたものの、その後の世界認定に向けては、第1回申請（平成22年）は「見送り」、第2回申請（平成24年）は「保留」に留まり、昨年3回目の申請で、ようやく候補地としての「推薦」が決定しました。

今後は、7月30日から4日間を  
かけ、それぞれのジオサイトにお  
て国外から審査員2名による現地  
審査が行われ、9月中旬にカナダ  
で開催される世界ジオパークネッ  
トワーク国際大会で、最終決定が  
なされます。  
今月号は、世界認定を目前に控  
え、皆さんに知ってもらいたい阿  
蘇ジオパークの魅力についてお届  
けします。

## ジオパークって何？



ジオ（地球）に親しみ、ジオを学ぶ旅、ジオツーリズムを楽しむ場所がジオパークです。山や川をよく見て、その成り立ちと仕組みに気付き、生態系や人間生活との関わりを考える場所です。足元の地面の下にある岩石から宇宙まで、数十億年の過去から未来まで、山と川と海と大気とそこに住む生物について考える、つまり地球を丸ごと考える場所、それがジオパークです。

（引用：日本ジオパークネットワークホームページ）



# 日本ジオパークネットワークに加盟する 全33か所を一挙公開！

日本国内のジオパークは全部で33地域。そのうち、6地域が世界ジオパークに認定されており、九州では平成21年8月に世界ジオパーク加盟認定された長崎県「島原半島ジオパーク」があります。

それぞれの地域が、特色のある地形や気候、文化により形成されたジオサイトを保有し、観光資源ひいては歴史学習の場として活用されています。



## ●世界ジオパーク

1 北海道	洞爺湖有珠山ジオパーク
2 新潟県	糸魚川ジオパーク
3 京都府・兵庫県・鳥取県	山陰海岸ジオパーク
4 島根県	隠岐ジオパーク
5 高知県	室戸ジオパーク
6 長崎県	島原半島ジオパーク

## ●日本ジオパーク

1 北海道	白滝ジオパーク
2 //	とち鹿追ジオパーク
3 //	三笠ジオパーク
4 //	アポイ岳ジオパーク
5 秋田県	八峰白神ジオパーク
6 //	男鹿半島・大潟ジオパーク
7 //	ゆざわジオパーク
8 青森県・宮城県・岩手県	三陸ジオパーク
9 新潟県	佐渡ジオパーク
10 福島県	磐梯山ジオパーク
11 茨城県	茨城県北ジオパーク
12 群馬県	下仁田ジオパーク
13 埼玉県	秩父ジオパーク
14 千葉県	銚子ジオパーク

15 神奈川県	箱根ジオパーク
16 東京都	伊豆大島ジオパーク
17 静岡県	伊豆半島ジオパーク
18 長野県	南アルプスジオパーク
19 石川県	白山手取川ジオパーク
20 福井県	恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク
21 愛媛県	四国西予ジオパーク
22 大分県	おおいた姫島ジオパーク
23 //	おおいた豊後大野ジオパーク
<b>24 熊本県</b>	<b>阿蘇ジオパーク</b>
25 //	天草御所浦ジオパーク
26 宮崎県・鹿児島県	霧島ジオパーク
27 鹿児島県	桜島・錦江湾ジオパーク





 **ASO GeopARK**

**歴史と文化がそこにある！**

**魅力あふれるジオサイト 33か所一挙公開！**

みんなで  
阿蘇ジオパークを  
盛り上げよう！

ジオパーク内の見どころのことを「ジオサイト」と言います。阿蘇ジオパークには、33か所のジオサイトが点在しています。そのうち、阿蘇市にあるジオサイトは16か所。あなたも観光客の方々に案内できるように、阿蘇の成り立ちや歴史、文化を楽しく学びましょう。



**5 古坊中ジオサイト**

中岳火口の近くには、その昔多くの坊舎や宿坊が建ち並び、修験僧たちが修行や生活をしていました。山岳宗教の跡と、中岳火山活動の影響を学ぶことができます。



**4 米塚ジオサイト**

約3,000年前にできた阿蘇火山の中でも新しい火山。国内では最も均整のとれたもののひとつ。ふもとでは溶岩トンネルも見ることができます。



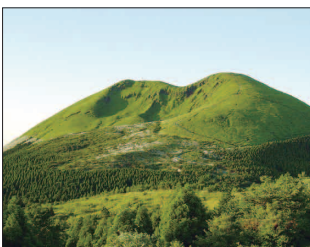
**3 草千里ジオサイト**

美しい草原と丸い形は阿蘇を代表する景観で、約3万年前の噴火跡です。二重になった噴火口は直径約1kmあり、周辺の烏帽子岳や杵島岳に登ると、上から美しい形を眺めることができます。



**1 大観峰カルデラジオサイト**

巨大カルデラ地形を観察することで、その大地に刻まれた噴火の記憶を実感できる阿蘇で最も重要なジオサイト。カルデラがつけられた当時の噴火の規模やその影響について考えます。



**7 杵島岳ジオサイト**

3,000～4,000年前頃に活動した比較的新しい火山で、新鮮な火山地形を残しているのが特徴。頂上からはカルデラ地形を360度一望できます。



**6 仙酔峡ジオサイト**

九州の火山地帯にのみ生育するミヤマキリシマは、毎年5～6月に阿蘇中岳一帯を鮮やかなピンク色に埋め尽くします。火山による特殊な景観と希少植物の関係性を考えます。



**2 中岳ジオサイト**

現在も活動を繰り返す火山から地球の営みを間近に感じるジオサイト。火山が作り出している独特の地形や地層について理解を深めます。また、活動火山を崇める人々の文化についても学ぶことができます。

(写真、情報提供：阿蘇ジオパーク推進協議会事務局)